

江戸川学園取手高等学校

えどとりAED同好会

高校生ボランティア・アワード2022

「地域の救命率向上に向けて」 活動概要

えどとりAED同好会がやっている活動は主に以下の項目に分けることができる。

- 【校内救命講習会】
- 【AEDマップの登録と更新】
- 【動画作成】
- 【外部での講習会の参加】

具体的には、

- 【校内救命講習会】

毎年、夏休み前に各部活動の代表者を集めて救命講習会を行っている。部活動中は特に事故が起こりやすいことから時間内に伝えなければいけないことを分かりやすく説明することができた。今年度はペットボトルを用いて胸骨圧迫の練習を行うことで、胸骨圧迫の練習時間を昨年度よりも増やしている。

- 【AEDマップの登録と更新】

学校周辺と取手駅周辺のAEDの設置場所を把握し「AED N@VI (https://aednavi.jp)」に登録と更新を行った。AEDが新設や移動をした場合は迅速に更新を行うようにした。

- 【動画作成】

学校内の緊急時に通る道にある段差を少しでも減らしてより短い時間で搬送できるようにするために地域の消防署の方へ自ら作成した動画を用いて質問することで具体的なアドバイスを聞くことができた。

- 【外部での講習会の参加】

外部で行われている講習会を調べて、コロナ禍ではあったものの地域の消防署で行われている普通救命講習やオンラインで講習会が実施されているものなど数多くの講習会に参加して、えどとりAED同好会で校内救命講習会に役立てることができた。



AEDマップの更新



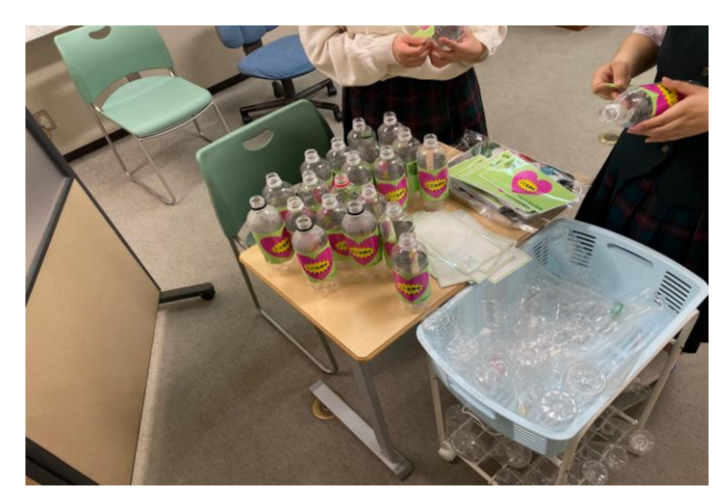
動画作成の様子



部活動中の様子



準備の様子



「1人でも多くの人に」を志して」 活動の目的・志など

私たちの活動の目的の

1つ目は、学校の授業で女子小学生の突然死をきっかけにその女子小学生のお母さんが中心となってAEDの普及活動をされていることを聞いたときに心を打たれ

「高校生である私たちにも何かできないだろうか。」と考えたことから活動が始まった。

2つ目は、実際のデータでも茨城県は救命率が5.1%でありこれは全国平均の7.2%から-2.1%ほど低い。

また、1位の福岡県の12.4%と比べると-7.3%も低いことが分かっている。

そして、1ヶ月後の社会復帰率も茨城県は5.6%であり全国平均の8.7%よりも-3.1%も低いことが分かった。

私たちはこの2つのことから今後もAEDの設置場所や使い方などを広め、1人でも多くのすべての年代の方にAEDと救命について知ってもらいたいという目的で活動を行っている。

「今までの活動と現在」

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)

今までの活動

①取手駅から学校周辺のAEDマップの作成と更新

（実施内容）

校内にあるAEDマップと学校周辺のAEDマップの更新を主に行った。（右の添付画像）新設されている場所や移動している場所などを「AED N@VI (https://aed-navi.jp)」に更新して正しい情報を地図上に入力した。具体的に更新した場所は、江戸川学園取手小学校、JR取手駅、取手警察署 取手駅交番前などである。

（成果）

登録されている情報を日々更新することで正確で新しいAEDマップを保つことができる。AED N@VIを知っている人がもしも人が倒れてしまったときに確実な情報を得ることができるようになっているのを維持できた。AEDを登録することでAEDをたくさんの方が利用しやすくなるため、地域の救命率向上に貢献することができた。

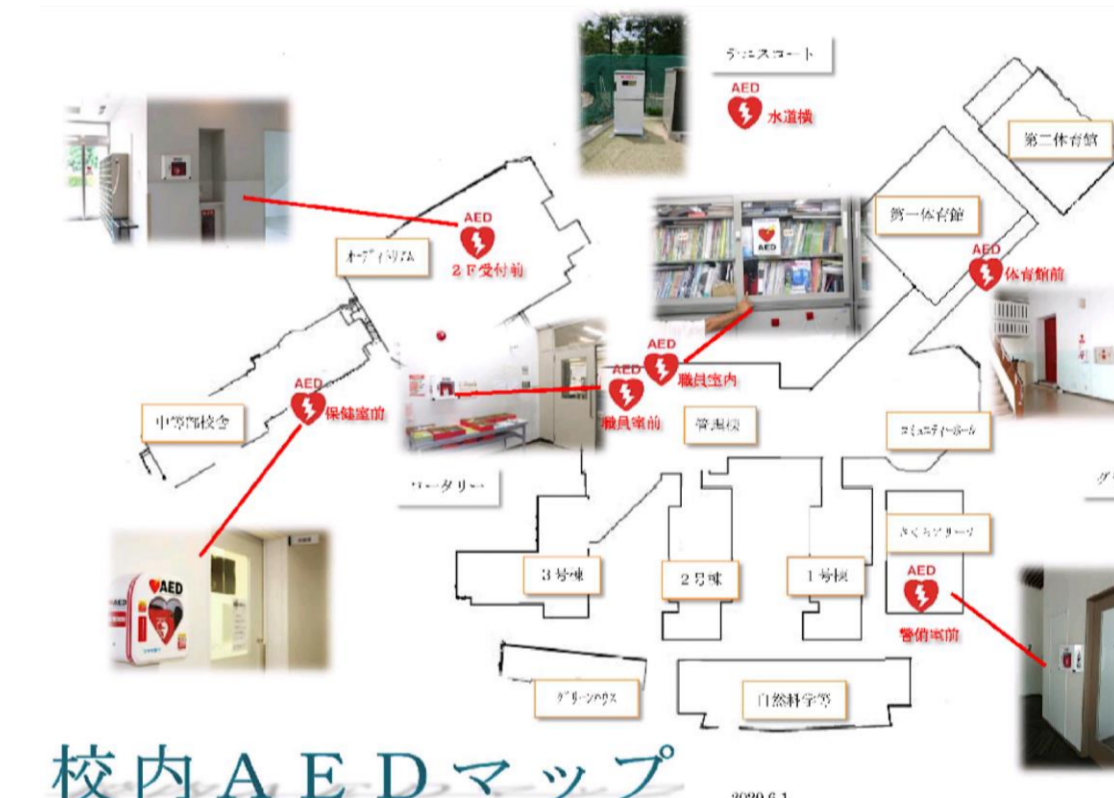
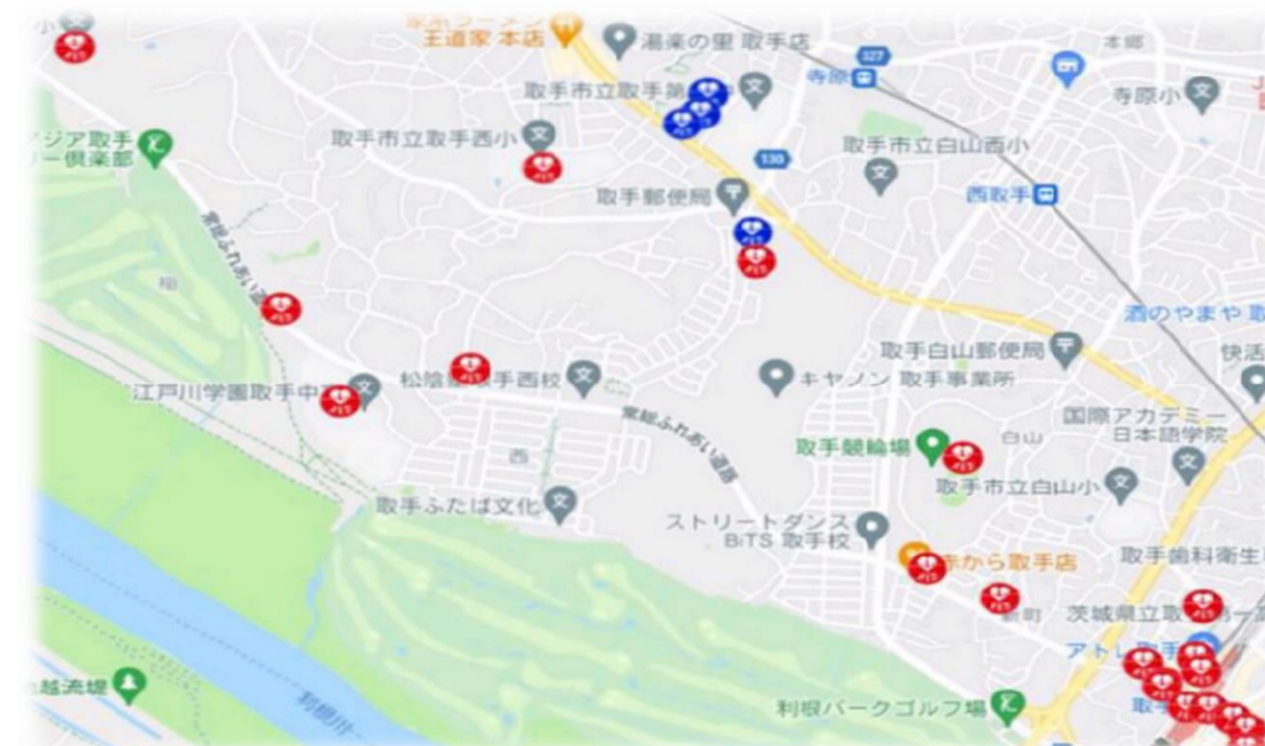
②校内救命講習会の工夫と救命率向上に向けて

（実施内容）

校内救命講習会で胸骨圧迫の部分の練習を増やすことを目標に全員が一斉に練習するためにペットボトルを利用した。（右添付写真）胸骨圧迫の練習の際に圧迫する部分に分かるように「ここを押す」という文字と共に、目に入りやすい色使いになるように私たち高校生で考えて緑色とピンク色をメインとしたシールを制作した。外部の救命講習会（地域の救命講習会）への参加によって得た知識や救命の仕方をうまく伝えるための工夫の仕方を生かして行った。

（成果）

全員が胸骨圧迫の練習を一斉にやる事ができたため、以前よりも救命講習会で胸骨圧迫の練習時間を長くすることが可能になった。実際に講習会に参加した人はしっかりと実際の現場をイメージしながら練習でき、もしも人が倒れてしまったときに実践できる人を増やすことができた。



「すべての年代の方へ」 今後の展望・夢など

いつ、どこで起こるか分からないということを踏まえてすべての年代の方がAEDや救命処置について知り、いざという時に自ら動けるように練習しておくことができれば、安心した街づくりや地域医療への貢献につなげることができる。

そのためには、まずは学校内にいる生徒に向けた救命講習会を実施し学校内の生徒が自ら動けるように救命について伝えていく。

次に、今まで学校周辺や取手駅周辺の登録や更新をしてきたAEDマップをまだ知らない人へ向けてもっと広めていく。

また、外部の講習会への参加を続けて救命講習会を開く際に今よりももっとたくさんの知識を分かりやすく伝えられるようにしていく。

これらのことを意識しながら地域の救命率向上に向けて活動を続けていきたい！

集合写真



活動団体プロフィール

- 【学校名】江戸川学園取手高等学校
- 【団体名】えどとりAED同好会
- 【活動人数】12人
- 【活動日】主に金曜日の放課後や朝とお昼休みの時間
- 【活動年数】3年
- 【今までの活動内容】校内救命講習会、AEDマップの作成と更新、動画作成、住んでいる地区の講習会への参加